



NEWS !

アジア諸国で、日本の高齢化への関心が高まっています。

日本の高齢化への対応についてアジア諸国からの説明依頼が増えています。医療・介護の制度に加え、高齢者の社会的孤立や孤独への対応にも関心が集まっています。

日本の高齢化率は世界最先端ですが、「65歳以上人口が7%から14%に到達した期間」では、韓国・シンガポール・中国・タイの方が日本より短期間に進行しています。

これらアジア諸国では高齢化への検討が急務で、日本の経験を参考にしています。

解説

日本の皆保険、皆年金、介護保険制度

皆保険（医療保険制度）、皆年金（年金制度）は日本の戦後復興と発展を支えました。

特に、医療保険制度は、いつでも、どの医療機関でも、同じ料金（診療報酬）で受診できます。また、勤労世代の自己負担は3割ですが、大きな手術を受け、治療費が高額になった場合には、1月あたりの上限額を「高額療養費制度」で低く抑えられます。

高額療養費制度にはアジア諸国の関心が高く感じます。日本と逆に、自己負担ではなく保険給付の上限額があり、公的な仕組みでは、順番待ちが長くなる国があるためです。

ポイント

社会的孤立や孤独にどう応えるか？

生活保護や医療サービスと医療保険など、人の生存や安全への欲求は、法律で対応できます。しかし、家族と一緒に暮らす、家族や地域で役割があることによる充足感、法律での対応に限界があります。

それでも、高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らす「地域包括ケア」が整備され、互いを尊重し、役割をもって生活できる「地域共生社会」が進められています。

高齢者・障害者の雇用も、収入の確保と役割の実感や評価で充足感が高まります。「誰も取り残さない社会」が理想です。

ひと言メモ

マズローの欲求段階説とは？

アメリカの心理学者マズローは、1943年に人間の欲求(Needs)を5段階に整理しました。

① 生命を維持する基本的な生理的欲求、② 健康や経済的安定を求める安全の欲求、③ 家族や地域で役割を果たしたいという所属と愛の欲求、④ 他者の評価や尊敬を求める承認の欲求、⑤ 自分の理想や可能性を追求する自己実現の欲求です。

生理的欲求、安全欲求に対応する医療や年金だけでは充足感が得られないことがよくわかります。



マズローの欲求段階説

連絡先

藤田医科大学 地域共生社会推進センター

センター長 堀江 裕

【事務局】 〒470-1192 愛知県豊明市省掛町田楽ヶ窪1-98

藤田医科大学2号館3階 学部学事課

0562-93-2653 c-inclusive@fujita-hu.ac.jp

URL: <https://www.fujita-hu.ac.jp/c-inclusive.html>

